

科目名	中国語Ⅱ	
担当者	張 紹妤 / CYO, Syoyo	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
科目概要	授業内容	中国語 I で学んだ発音をさらに正確なものとし、語彙を増やし、新しい文法と表現を学びます。簡単な文章を読んで書く練習もします。
	到達目標	(1) 経験の表現 数詞を使った表現(年月日・曜日・時刻等) 「～するのが好き」の表現を理解し言うことができる。 (2) 助動詞「要」「能」等の助動詞を使うことができる。 (3) 「在～」「从～到～」と結果補語の表現を使うことができる
授業計画	(1) オリエンテーション 前期の復習 第6課、本文の朗読と新しい単語 (2) 第6課 朗読、経験の表現 「～するのが好き」 助動詞「要」 (3) 同上 数詞を使った表現 練習問題 (4) 第7課 朗読と新しい単語 年月日、曜日、時刻の言い方 (5) 同上 文末の「了」 状況変化の表現 (6) 同上 練習問題 (7) 第8課 朗読と新しい単語 時間量の言い方 量詞の用法 (8) 同上 「～から」と「～へ」の表現 (9) 同上 朗読 練習問題 (10) 第9課 朗読と新しい単語 「～にある」の表現 (11) 同上 「～しているところだ」 進行の表現 (12) 同上 朗読 練習問題 (13) 第10課 朗読と新しい単語 可能の表現 「能」 (14) 同上 結果補語 動作の結果まで含めた言い方 (15) 同上 練習問題 総まとめ ※授業の進行状況によって、内容を変更する可能性があります。	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> 「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 文法を復習し、新出単語を記憶する。 テキストの本文を何度も朗読し、書き写す。
使用教材・参考文献	【教】相原茂 陳淑梅 飯田敦子『日中のぶくみ広場』朝日出版社 2011年	
成績評価方法と基準	成績評価では主に発音を重視し、ノート提出、発表、筆記試験などを含みます。出席が3分の2に満たない場合、失格となります。教科書を揃えずに受講し続けた場合単位は認定できません。	
備考	<p>中国語 I を履修したか、履修したものと同等の力があると認められない場合は、受講できません。</p> <p>『読書』課題については、定期試験において、指定の文献を読んでいれば答えられる問題を出します。</p>	